

企業等から福祉現場への人材供給に関する調査研究事業

社会福祉法人 千楽 （報告書 A 4 判 76 頁）

事業目的

本事業は、福祉事業所における他業種の企業からの転職・出向の状況の実態を把握し、実際に中高年で福祉業界に転職・出向した人たちにインタビューをすることで、福祉業界が選択されるためのポイントを明らかにすることを目指した。また、その結果を広く知らせ、福祉現場への人材供給の一助とするために、現在福祉以外の分野で働いている人たち向けの冊子および転職者や出向者を受け入れる福祉事業所向けの冊子を作成することとした。

最終的には、本事業の成果が中高年層等の職業選択の参考となり、福祉現場の人材確保にも資することを目的とするものである。

事業概要

「企業等から福祉現場への人材供給に関する調査研究事業」検討委員会を設置し、次の 3 つの事業をおこなった。

①他業種からの転職・出向の状況の実態および転職者・出向者の採用・定着等に関する考えについて、全国の福祉事業所を対象にアンケート調査を行った。以下のとおりに回答用の二次元コードおよび URL を FAX 送信または電子メール配信し、回答を収集した。

- ・日本知的障害者福祉協会に依頼し、加盟法人のうち 200 カ所を無作為抽出していただいた。その上で、日本知的障害者福祉協会からアンケートフォームの二次元コードをつけた依頼文を FAX にて送信していただいた。
- ・全国地域生活支援ネットワークに依頼し、加盟法人にアンケートフォームの二次元コードをつけた依頼文をメールにて送信していただいた。
- ・本検討委員会の委員を通して URL を配布し、依頼した。

②他業種の企業から福祉業界に転職した人たちに対してインタビュー調査をおこなった。以下の条件に当てはまる人について、当法人および検討委員の伝手で協力を依頼した。

- ・福祉・介護業界以外からの転職・出向者である。
- ・現在の職場に入ってから 5 年以内（目安）である。

インタビューへの同意を得られた転職者を対象に、以前の仕事内容と現在の仕事内容、福祉業界を選んだきっかけ、以前の仕事の経験がどのように生きているかなどについて詳しく話を聞いた。また、転職者が働く法人の職員にもインタビュー調査をおこなった。

③現在福祉以外の分野で働いている人たち向けの冊子および転職者や出向者を受け入れる福祉事業所向けの冊子を作成した。

調査研究の過程

前述の3つの事業をおこなうにあたり、以下のとおり検討委員会を開催した。

- ・第1回検討委員会（2023年8月1日）
主な議題：事業趣旨の説明、福祉業界の近況についての意見交換
- ・第2回検討委員会（2023年8月29日）
主な議題：アンケート調査の内容およびアンケート配布方法の検討、インタビュー調査の方法および対象者の検討
- ・第3回検討委員会（2023年12月21日）
主な議題：アンケート調査結果の共有・議論、インタビュー調査の項目の検討、成果物についての確認

アンケート調査は、上記事業概要のとおり依頼し、回答期間は2023年11月10日～2023年12月10日とした。期限までに22件の回答があった。予定していた回収数の半分程度であったが、回収できた回答が質的分析には充分であると判断し、期間の延長や追加のアンケート配布はおこなわなかった。

インタビュー調査は、上記事業概要のとおり依頼し、ほぼ予定していたとおり11名の転職者からの回答を得ることができた。

事業結果

本事業で実施した3つの事業の結果は以下のとおりである。

- ①他業種からの転職者・出向者として30代～60代を中心に多様な年代が採用されていること、職種としては「生活支援員」をはじめ、福祉の専門職が大半を占めること、採用にあたっては人柄・人物像に着目する法人が多いことなどが明らかになった。
- ②転職者へのインタビューの結果、給与は前職に比べて下がったという人がほとんどであったが、休暇が確保しやすいなど、人間関係や労働環境は前職に比べてよくなったという声が多かった。また、前職の経験がさまざまな形で生かされており、さらには「自分の価値観が変わりました。子育てにも役に立ちました」というように、福祉業界での経験で転職者自身がポジティブに変容した例もみられた。
①のアンケート結果では、「企業等からの転職者・出向者がもっと福祉現場に来るようにするために必要なこと」として賃金の上昇・休暇の取りやすさ・福祉の仕事のイメージ改善など、従来福祉業界の課題となっていた点が多く挙げられたが、休暇の取りやすさや福祉の仕事内容については、現状でも十分に福祉業界の良い点としてアピールすることができるものと思われる。
- ③現在福祉以外の分野で働いている人たち向けの冊子を作成した。転職や出向、ボランティアなどで福祉業界が選ばれるよう、福祉の仕事の魅力を伝える文章や福祉の仕事についてのQ&A、インタビュー調査の抜粋、転職・出向等を支援する組織からのメッセージを掲載した。また、転職者や出向者を受け入れる福祉事業所向けの冊子を作成した。転職者や出向者を積極的に受け入れ、定着につながるよう、インタビュー調査の抜粋、アンケート調査の抜粋、転職・出向等を支援する組織からのメッセージを掲載した。

本事業の成果物の冊子は、より多くの人が福祉業界に関心を抱き、働く場の選択肢の一つとなること、また、福祉事業所側も転職・出向の現状をもとに、より積極的に他業種の人材を活用していくことに参考になるものであると考える。

また、本事業の結果をふまえて、今後取り組むべき事項として「企業サイドへの働きかけ」「福祉業界での受け入れ体制の整備」「企業サイドと福祉事業所をマッチングする仕組みづくり」の3点を挙げ、具体的な提言をおこなった。

事業実施機関

社会福祉法人 千楽
〒279-0042 千葉県浦安市東野1丁目7番5号
電話：047-305-1988（代表）